



優秀賞 (総合部門)

タイトル

通りぬける家2

タイプ

持家共同建

講評

上位賞検討作品。個室の壁を取り払いリビングと主寝室の間に回転式建具間仕切を設け、採光・通風が自由に取れるよう工夫。入口脇の緩衝空間もよい。収納にも細やかな配慮がなされ、施工技術も含めて全体にレベルの高い作品。

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

夫婦と子供一人の家族のためのフルリフォーム。
 生活のほとんどをこの場所で過ごす妻と子、そして、不規則な仕事のために外出の多い夫。
 家族それぞれの過ごし方を明確にすることを目的にプランを作成した。
 既存のマンションは、決して広いとはいえない従来の3DK。
 個々の部屋が隔絶され、暗く風通しも良くなかった空間を光と風で繋ぐ工夫をし、各空間は壁で仕切らず素材と色によって意識化させた。リビングは白皮床、キッチンも床天井とも濃茶のフローリング材で覆い、寝室は回転式の建具間仕切りとした。また、エントランス空

間を広げ、寝室と共同廊下の緩衝帯として寝室のプライバシーを確保すると同時に、収納を浮かせることにより共同廊下側の開口から寝室に光と風を取り入れた。
 フLOORオープンになったスペースでは、妻は家事などスムーズに行いながら子供の存在も常に意識することができ、子供は安心して皮床の上で遊び、転げ、家の中を走りぬける。キッチンは夫の書斎としても使用され、夜はホームシアターを楽しむ。限られた一つのスペースが時間や個々の目的によって変化し、流動的に使用されることとなった。

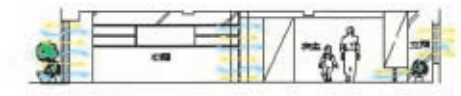
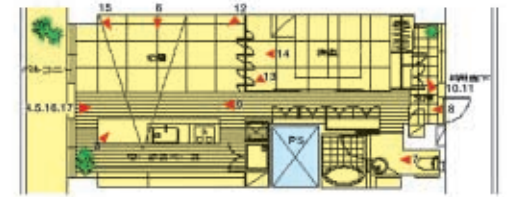
特に配慮した住宅性能：

| データ | |
|---------|--|
| 所在地 | 東京都渋谷区 |
| 構造/築後年数 | 鉄筋コンクリート 造 / 38 年 |
| 該当工事面積 | 63.77 m ² / 総工事床面積 63.77 m ² |
| 該当部分工事費 | 1,000 万円 / 総工事費 1,000 万円 |
| 居住者構成 | 15歳以上65歳未満： 2 人 / 65歳以上： 1 人 / 15歳未満： 1 人 / ベット： 1 |
| 設計者 | K2-foundation |
| 担当者 | 河原崎 和也 |
| 施工者 | (有)仲野工務店 |
| 担当者 | 藤ノ木 廣 |

リフォーム前



リフォーム後



S=1 : 150